

(テーマ) 相沢はなぜエリスに豊太郎の事情を伝えたのか。

始めに、このテーマにした理由は始めから豊太郎が日本に帰ることなどを、エリスに伝えればいいものを、なぜ相沢はわざわざエリスに伝えたのか疑問に思い、それについて詳しく調べてみたかったからである。

結論としては豊太郎とエリスを別れさせて、豊太郎を元のエリートに戻すためで、豊太郎の代わりに言ってあげたということである。このことを本文の根拠をふまえて説明していく。

まず相沢という人物について説明すると、東京にいて、天方伯の秘書官であり、天方伯と共にドイツに来たこの時代というエリート。また豊太郎が職を失った時に、わざわざ某新聞の編集長を説得して豊太郎に通信使の職を与え助けた。またその後も豊太郎の名誉回復のために天方伯に会うように豊太郎に伝えている。これらのことから相沢は友の将来を心配してくれる友達思いな人物だったことがわかる。

また豊太郎は十九歳のときに学士をとり、ドイツ語、フランス語を話せるといった学識ある人物で、ドイツに留学してきた。相沢と同じくエリート。一方エリスは本文にもあるように、貧しい家の娘でビクトリア座の一員。踊り子のようにあり、当時の身分としては低い身分の人。このようにエリートであった豊太郎にとってはエリスはふさわしくない女性だったことがわかる。

これらの事をふまえて考えてみると、本文の相沢の言葉にもあるように、相沢は今までエリートの道を進んできた豊太郎に道はずして欲しくなかったんだと考えられる。豊太郎はエリスと交際を始めてから学力が衰えて、今までの職も失いエリートからはずれつつある。そんな豊太郎を相沢は心配したんだと思う。そして相沢は豊太郎がエリスに日本に帰る事を伝えていると思ったけれど訪れた時のエリスとの会話から、豊太郎がまだエリスに伝えていない事を知ったのではないだろうか。本文にもあるように、日本に帰る事には即答したのにまだ言ってなかったのがエリスに言いづらいのかと考え、友達思いの相沢は豊太郎の代わりに言ってあげて、エリスに豊太郎をあきらめさせようとしたんだと思う。

以上より相沢は豊太郎という友達の将来を心配して、エリスと別れさせて、元のエリートに戻すために豊太郎の代わりにエリスに豊太郎の事情を伝えたんだと思う。

考えるにあたってよくわからなかったことは、相沢はどんなことをエリスがノイローゼになるほど言ったのかということだ。ただ豊太郎の事情を伝えるだけでエリスがノイローゼになるだろうか。もしかしたら相沢は必要以上の事を言ったのかもしれないが、そこまではするのは完全にエリスをあきらめさせるためだろうか、それとも他に何か理由があったのだろうか、そこがよくわからないところだ。